

《基本理念》医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし、その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

2016. 11~12

TORANOMON
VOL. 155

とらのもん

URL : <http://www.toranomon.gr.jp>



本 院
公開講座

日時：2017年1月21日（土）14：00～15：30

場所：本院 本館3階 講堂（入場無料）

講師：消化器内科 医長 小山 里香子

※ 上記の公開講座は、諸般の事情により、変更・延期・中止になることがございます。お電話・ホームページ等で開催の有無をご確認ください。

【本院 中央採血室からのお知らせ】

現在、中央採血室がたいへん混雑して御迷惑をおかけしております。

午後の2時以降が比較的空いています。主治医とご相談の上、可能な場合は午後の採血をお勧めいたします。

今月の特集

- 採血についてのご説明
- 新ドックプロジェクト③
- 前年度患者アンケートの結果報告
- 連携医療機関のご紹介
↳ 藤田クリニック
- 連携医療機関のご紹介
↳ ハイメディック東京ベイ
- ハイ！お答えします
↳ 分院五十周年記念について



『 クリスマス ヴィレッジ 』



国家公務員共済組合連合会
虎の門病院
TORANOMON HOSPITAL

【虎の門病院 本院】
☎03-3588-1111（代）

【虎の門病院 分院】
☎044-877-5111（代）

【さいたま診療所】
☎048-601-1347

採血についてのご説明

臨床検体検査部 採血科

外来採血室では、検体検査について専門的知識をもった臨床検査技師が、採血を担当しております。安全管理も徹底して行っております。

今回ご案内致しますこちらの『採血についてのご説明』をご理解いただき、採血をお受けくださいますよう、お願い申し上げます。

～採血が必要なときはどんな場合？ 合併症とは？～



採血は、血液検査を行うために必要な医療行為で、多少の痛みを伴いますが、基本的には安全です。しかし稀に、持続する痛みやしびれ・止血困難や皮下血腫・消毒薬やラテックスなどによるアレルギー反応・気分不快感や意識消失などを引き起こすことがあります。医師は、採血によって得られる情報（病気の診断や病状の変化を知ること）が、その不利益より重要であると判断した場合に採血をお勧めしています。

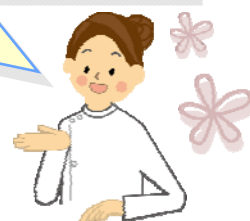
採血に伴う合併症が起きた場合には、最善の処置を行います。なお、その際の医療については通常の保険診療となります。

～安全に採血を行うため、以下の点にご協力をお願い致します～

- ◆ ご本人確認にご協力ください
当院では、ご本人確認のため、採血時にご自身の姓名を名乗っていただきます。さらに採血台の画面に表示されるお名前を、目視確認していただいております。
- ◆ 採血前にお申し出ください
採血で気分が悪くなる方／消毒薬やラテックスにアレルギーをお持ちの方
乳房切除手術を受けられた方／採血に関してご希望・不安な点のある方
- ◆ 採血中のお願い
○採血は通常、肘窩部（肘の裏）の血管から行いますが、前腕や腕の裏側、手の甲などから採血することもあります。1回で全量の採血ができるよう努めておりますが、十分な量が採取できない場合には、部位を変えて再度採血させていただく場合があることをご了承ください。
○採血中にしびれ感や、我慢できない痛みを感じた時は、直ちにお申し出ください。
○気分が悪くなった場合は、我慢せず、直ぐにお申し出ください。
- ◆ 採血後の止血についてのお願い
採血後は、内出血や皮下血腫を防ぐため、また血液で衣類を汚さないため、消毒綿等の上から指で5分以上、しっかりと圧迫止血してください。



ご不明な点は、担当医あるいは採血科スタッフにお尋ねください。
虎の門病院 03-3588-1111 採血科（内線：4505～4508）



このコーナーでは、2017年10月2日（予定）に、銀座線溜池山王駅に直結する現在建設中のビルに移転することになった当院の「健康管理センター・画像診断センター」についてお知らせしています。今回は、統括センター長の荒瀬先生より、人間ドック健診の重要性についてお話いただきます。

近年、本邦では健康意識の高まりの為か、人間ドックを受診される方々の増加がみられています。人間ドック学会での調査では、学会が人間ドック機能評価認定施設と認めた医療機関での人間ドック受診者数は1984年4.1万人だったのが、2015年には316万人に達しています。人間ドックは、日本をはじめ、シンガポール、香港等で活潑に行われています。これらの地域は平均寿命の高い地域でもあります。



人間ドックは従来、主として悪性腫瘍あるいは狭心症・不整脈・脳梗塞等心脳血管病変の早期発見の効用があるということで利用されてきました。近年はこれらに加え、次の例に示すように疾患の予防上の利点も認識されています。

例1) 悪性腫瘍の発症予防

たとえば、胃癌はピロリ菌が極めて重要な危険因子であり、胃癌の90%以上にピロリ菌が関与すると考えられています。またピロリ菌が陽性であれば一生のうちに約2割の方々が、胃癌になるとも報告されています。人間ドックでピロリ菌陽性であると確認されれば、現在は90%以上の確率でピロリ菌を除菌できるようになりました。

例2) 心脳血管病変の予防

狭心症、心筋梗塞、脳梗塞等の発症には、高血圧、高血糖、高脂血症、喫煙等が関与しています。実際、血管年齢がどの程度なのかを、人間ドックのオプション検査で検査できるようになっています。血管年齢がわかればそれに合わせた治療が可能となります。

例3) 骨折の予防

骨は加齢により折れやすくなりますが、健診にて骨密度を測定すればどの程度折れやすいのか・薬により骨の脆弱化に歯止めをかけることが必要なのかを決めることが可能となります。

このように、現在の人間ドックは疾患の早期発見以外に疾患予防の観点からもその有用性があり、受診者の方々からの要望も高まっています。

これらのご要望に多少でも対応できるように、当院人間ドック施設は2017年10月に移転を予定しております。移転先は溜池山王駅に近接した現在建設中の赤坂インターシティAIR（38階建て）の5階です。当センターは現在4フロアに分かれています、移転後は1フロアになります。

新健康管理センターの改善点は、

- 1) 現在の施設より敷地面積が広くなり、ゆったりとした空間が提供可能なこと
- 2) 検査・病歴の聴取等で個人のプライバシーが守られやすくなったこと
- 3) 高性能、高感度の各種検査設備を設置予定であること
- 4) 内視鏡カメラ、MRI等の検査で受診者の方々への負担を軽減するための準備をしていること

などです。MRIは検査時間が約2/3に短縮できるような、利用者により負担がかかりにくい機器を準備します。

厚生労働省は健康日本21基本理念として、壮年期の死亡の減少、健康寿命の延長を挙げています。理念を実現するのに少しでも役立てればとのことで、新健康管理センターでの業務に従事する所存です。新健康管理センターに移りましても引き続き受診の程よろしくお願い申し上げます。

人間ドックに関するお問い合わせ

虎の門病院 付属

健康管理センター・画像診断センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-3 虎ノ門清和ビル

TEL 03-3560-7777 (平日11:00～16:30)

ホームページ <http://www.toranomon-dock.jp/>

2015年度 患者アンケートの結果をまとめました

虎の門病院では毎年、患者さんにアンケート（満足度調査）を実施しております。この調査は、患者さんの視点で当院のサービスにおける現状の課題を把握し、今後のサービス向上と業務改善等に役立てることを目的としています。

今年は、入院患者さんは8月16日～8月30日、外来患者さんは8月25日・26日にアンケートを実施し、多くの方にご協力いただきました。今年の結果がまとまる前に、去年はどうだったのか結果の一部をご報告いたします。引き続き、皆さまのご期待に添えるよう努めてまいります。



【2015年度 アンケート実施日】

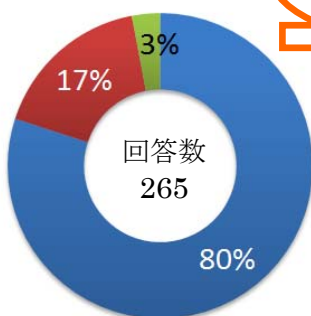
- 入院：2015年9月28日～10月13日
- 外来：2015年9月29日～30日

【2015年度 アンケート回収率】

- 入院：90%
- 外来：66%

～評価が高かった項目～

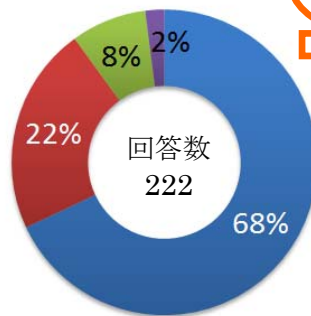
入院患者さん



医師は納得・同意した方法で治療した

- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- そう思わない

外来患者さん

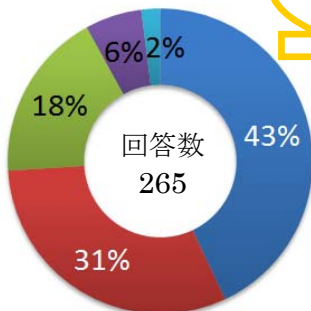


医師は納得・同意した方法で治療した

- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- そう思わない

～評価が低かった項目～

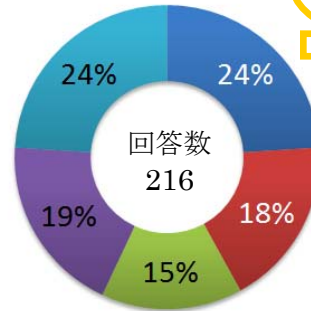
入院患者さん



院内の設備が充実しているか

- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- そう思わない

外来患者さん

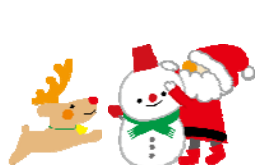


予約した時間通りに診察が行われたか

- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- そう思わない

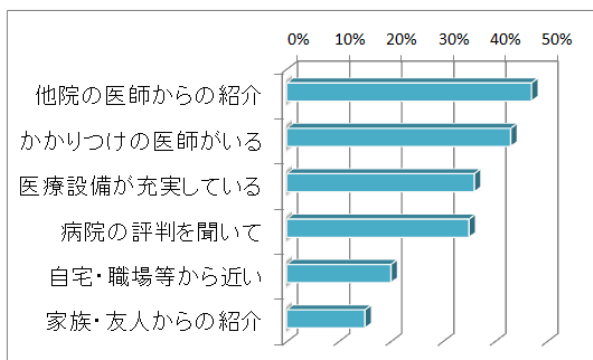
新病院では現在よりも個室を増やすことにより、入院患者さんのプライバシーに配慮いたします。また、都心では得づらい季節感、自然の香りや陽の光を体感できる屋上庭園を設けることにより、快適な療養環境の実現を目指します。

42%の患者さんは時間通りとの回答である一方、43%の患者さんは時間通りではなかったとの回答でした。医師ごとに偏りがあるようです。地域連携を強化しつつ、適切な外来数となるよう予約ルールを見直し、改善に努めてまいります。

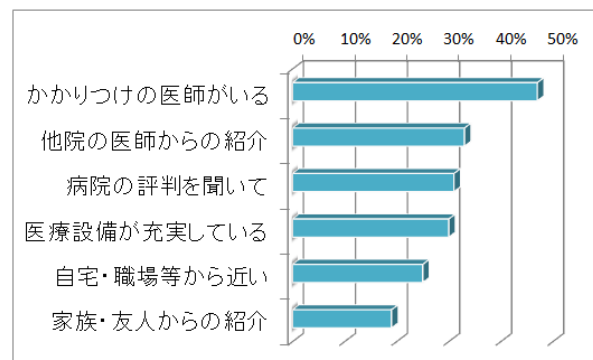


～当院を選んだ理由～

入院患者さん

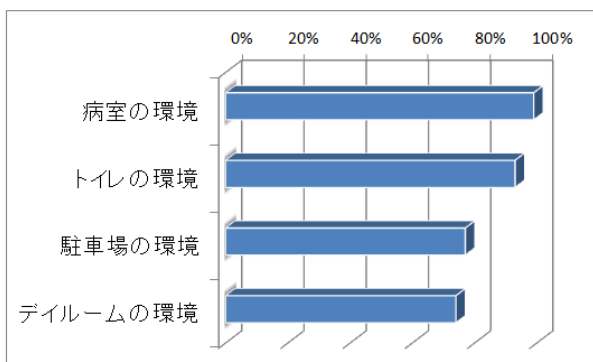


外来患者さん



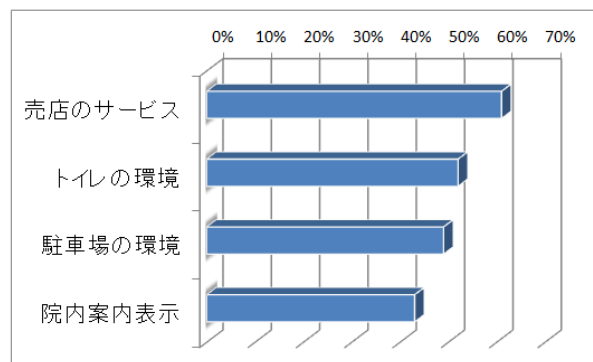
～改善が必要と感じたところ～

入院患者さん



ご不便おかけしております。病室の環境の問題点として「室温管理」「室内設備」、トイレ環境の問題点として「設置台数」が多く挙げられていました。デイルームの「広さ」含めハード面については、新病院移転によって改善の予定です。

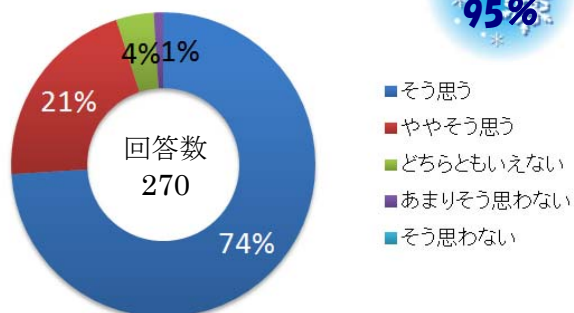
外来患者さん



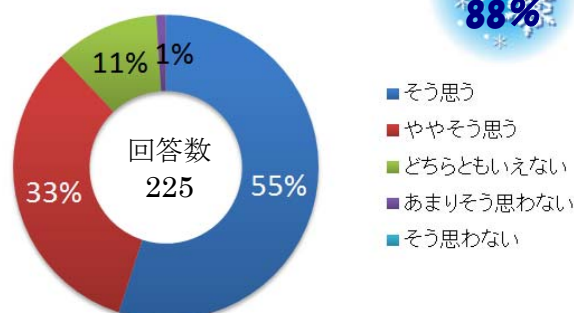
入院と同じく、トイレ環境の問題点として「設置台数」が多く挙げられていました。売店のサービスは「商品種類」を多くしてほしいという声が多く、新病院では外来・入院それぞれのエリアにコンビニを設置し改善する予定です。

～当院に満足しているか～

入院患者さん



外来患者さん



アンケートにご協力いただきました患者・ご家族の皆さまへ感謝を申し上げます。今後も改善等お気づきの点がございましたら、遠慮なくご意見をお寄せください。

院長 ご挨拶

当院は2000年5月に開院し、今年で17年目を迎える内科、小児科の診療所です。通常の診療に加えて、乳児の予防接種、健診から始まり、幼稚園医、小学校医、特別支援学校医、産業医、メタボ健診、成人の予防接種、在宅医療、看取りまであらゆる世代の医療に幅広く取り組んでいます。何でも相談できて、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介する、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を総合的に担う医師＝かかりつけ医、家庭医であることを常に心掛けています。都心部で最も重要な医療機関の代表格である虎の門病院と協力して地域の皆様、おひとりおひとりにふさわしい医療を総合的、継続的に提供して参りますので当院Webサイトやお電話などお気軽にご相談ください。

●ドクター紹介



院長 藤田 耕一郎
(ふじた こういちろう)

＜略歴＞

昭和56年3月 駒場東邦高校卒業
昭和63年3月 群馬大学医学部卒業
昭和63年6月 群馬大学医学部第1外科に入学
平成08年3月 群馬大学大学院医学研究科修了 博士(医学)
平成12年5月 藤田胃腸科クリニックを開院 院長
平成15年7月 医療法人社団 松柏会 藤田クリニック 院長

＜資格＞ 日本医師会認定産業医

平成28年6月より 一般社団法人 東京都港区医師会長

【診療内容】

内科・小児科・胃腸科・肛門科

【院内写真】



(受付)



(待合室)



(診察室)

【診療時間】

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	○	○	—

※通常の診察に予約はいりません。

【休診日】 日曜・祝日

【アクセス】

銀座線 外苑前駅 1B出口より徒歩3分

銀座線 外苑前駅 4A出口より歩道橋渡って徒歩1分



(Google MAPより)

藤田クリニック

〒107-0062

東京都港区青山2-22-19 三和青山ビル8F

電話 03-5772-7381

URL <http://www.fujita-clinic.jp/>





ハイメディック東京ベイのご紹介

「ハイメディック東京ベイ」は、医療法人社団ミッドタウンクリニック ミッドタウンクリニック有明により運営されており、「ハイメディック東京ベイ画像センター^{*1}」と一体となって検診を提供する会員制^{*2}の総合検診倶楽部です。ハイメディック東京ベイでは、検診で国内初導入となるPET/MRIを導入し、がん・心疾患・脳血管疾患の早期発見のために、高精度な検診体制をご提供しております。また、乳腺検査にも力をいれており、乳房用PETや3Dマンモグラフィ等の最新鋭の機器による複合的な検査による多角的な情報から、わずかな病変の発見が可能となります。「ハイメディック東京ベイ」は高度な画像診断と充実した検査内容でQOL（生活の質）の向上を目指しております。

^{*1} 医療法人社団ミッドタウンクリニック ミッドタウンクリニック東京ベイにより運営されています。

^{*2} 会員権の購入が必要となります。

●ドクター紹介



院長 大城 秀巳（おおしろ ひでみ）

＜経歴＞

- 東京大学医学部卒業
- 東京大学医学部附属病院第1外科（現 腫瘍外科・血管外科）入局
- 米国New Jersey州立医科歯科大学 客員研究員
- 東京大学腫瘍外科・血管外科 医局長
- 東京大学非常勤講師（血管外科）
- 内閣府宮内庁侍従職 侍医
- 内閣府宮内庁侍従職 侍医長
- 医療法人社団ミッドタウンクリニック ミッドタウンクリニック有明 院長

【診療内容】 内科・外科・放射線科

【館内写真】



（待合室）



（診察室）



（80列ヘリカルCT）



（3Dマンモグラフィ）



※ハイメディック東京ベイ画像センター

（PET/MRI）



※ハイメディック東京ベイ画像センター

（乳房用PET）

【検診内容】（例）

1回目 検査メニュー

- 受付・オリエンテーション・尿検査・問診
- 婦人科検査・医師による問診 **女性**
（経膈超音波検査、子宮頸部細胞診）
- 体重測定・血液検査（全身スクリーニング、腫瘍マーカー、ホルモン検査）
- PET/MRI検査
- 乳房用PET検査 **女性**

所要時間 約2時間30分



2回目 検査メニュー

- 3.0テスラMRI検査（頭部～骨盤部）
- 80列ヘリカルCT（胸部、上腹部、下腹部、内臓脂肪）
- 超音波検査（頸動脈、甲状腺、乳腺 **女性**、心臓、上腹部臓器）
- 3Dマンモグラフィ **女性**
- 身体計測・視力・眼底・眼圧・聴力・心電図・呼吸機能・四肢脈波
- 上部消化管内視鏡検査
- 総合結果説明

所要時間 約5時間

【アクセス】

〒135-0063

東京都江東区有明3-5-7 TOC有明イーストタワー5F



ハイメディック東京ベイに関する
お問い合わせ先

■ TEL 03-6731-0706 ※(株)ハイメディック直通

ハイ！お答えします

日頃、ふと疑問を持ちながら過ごしていることや、つい聞きそびれてしまったことなどありませんか？
今回は、今年の9月に分院が50周年を迎えましたので、そのご報告と分院についてお話しします。

多くの患者さん、職員に支えられ、分院は昭和41年の開院から、
本年9月22日に50周年を迎えることができました。

『虎の門病院五十年史』によると、虎の門病院（本院）は都心にあり、高い診療機能を備えているが、診療的要素のほかに生活的要素を必要とする慢性疾患患者や回復期の患者のためには、必ずしも条件は好適とはいえない。しかも、そういう患者がそのベッドを占有していると、真に高度の診療機能を必要とする患者の入院治療の機会を邪魔することになる、そうした両面の矛盾を解決するために生まれたのがこの病院（分院）である。虎の門病院が、本院と分院の両者一体の運用により果してよくその所期の目的を達成できるかどうか。それはわが国の病院のあり方に一つの新しい方向を生み出しえるかどうかの貴重な実験的な意味をもつ。その意味で、広い土地と美しい緑に恵まれたこの分院がこれから大いに健全に発展するよう切に願われる。と開院の挨拶で連合会本部から説明があったそうです。

しかしながら、時代の流れと共に分院のあり方も大きく変わり、当初の慢性疾患回復期治療センターから急性期の特殊治療センターへと病院の位置づけも変わり、病棟編成も一般病棟だけでなく、回復期リハビリテーションセンター病棟、本年10月からは地域包括ケア病棟も新設し、多くの患者さんのニーズに則した体制になりました。病床数も当初は250床から始まり、移植・人工臓器センターの設立に併せて平成4年からは300床に増床しました。

当初は入院のみで外来をおこなっていませんでしたが、紆余曲折を経て現在では1日500名を超える患者さんが外来に来院されています。交通手段も開院当初の最寄り駅はJR南武線の武蔵溝ノ口駅であったことを考えると、現在は田園都市線の梶が谷駅に加え、患者さんたちの要望により宮崎台駅から東急バスも乗り入れるようになり、利便性も格段に向上しました。

これからも開院当初の挨拶にあったように、本院と分院が両者一体となって患者さんの治療に取り組んでいきたいと思っております。

熊田分院長を中心に50年を迎えられた歴史ある病院として、本院には無い恵まれた療養環境の中で、職員一団となって働いておりますので、是非分院にも受診をお願いいたします。

（分院事務長 西岡重吉郎）

虎の門病院 分院

検索

お問い合わせ先：044-877-5111



昭和41年 開院当時の分院



昭和45年 田園都市線梶が谷駅周辺



昭和49年 R246工事中



平成28年 現在の分院

ご家族が赤ちゃんと過ごせる時間が増えました

① お産当日

赤ちゃんにご家族が会えるスペースが限られていましたが改装してゆっくり会えるスペースができました。

② 毎日お部屋で

赤ちゃんに直接会えるのはお父さんに限られていましたが、個室ができてお父さん以外でもゆっくりと会うことができます。

*詳細は、本院のホームページをご覧ください。

当院でセカンドオピニオンの提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医（部長・医長クラス）による特別相談をお受けしております。（完全予約制、紹介状必要）

（料金）30分：21,600円（延長15分毎：10,800円追加）

（担当）本院医療連携部 03-3588-1111 内線4106

分院医療連携部 044-877-5111 内線5141